

身近な「人々、社会、自然」と直接関わる活動や体験を通して、楽しさと共に知的な気付きを引き出し、自立への基礎を養うことを目指した授業の工夫改善

日立市立久慈小学校

1 はじめに

久慈小学校は、「ふるさと久慈に誇りをもち、夢に向かって学び合い 磨き合う 心豊かな久慈っ子の育成」を学校教育目標に掲げ、「ふるさと教育」を中心に様々な特色ある教育活動を展開している。その一環として、生活科と総合的な学習の時間においては、身近な地域の教材としての「人々、社会、自然」を活かした学習活動を展開している。

生活科では、地域の豊かな自然と直接触れ合ったり、古くからある久慈浜の商店街の協力を得て、町探検で地域の方と交流したりする活動を充実させている。また、総合的な学習の時間では、久慈浜の歴史と産業の発展に焦点を当て、地域の歴史的建造物を調べたり、久慈漁港の漁業について地域在住の漁師の方から話を伺ったりする等の活動を充実させ、自分たちの住む久慈町の中で夢をもって進んで学ぶ児童を育成したい。

2 指導案

(1) 単元 レッツゴー!町たんけん

(2) 単元の見どころ

- ① 自分の生活している町に関心を持ち、地域の人々や様々な場所に親しみをもつて関わったり、友だちと協力して町を探検したりしようとする。

(生活への関心・意欲・態度)

- ② 地域の人々や様々な場所と適切に関わることや、安全に生活することについて考えたり、町探検で発見したことや気付いたことについて自分らしい方法で表現したりすることができる。

(思考・表現)

- ③ 町の自然や人々、社会、公共施設などのようすや、自分たちの生活との関わりに気付くとともに、自分の待ちのよさに気付くことができる。

(気付き)

(3) 指導について

① 単元について

本単元は、自分たちが住む町を探検し、町の自然、人々、社会、公共物などに関心をもつとともに、自分たちの生活は、地域で生活したり、働いている人々や様々な場所と関わったりしていることがわかることをねらいとしている。町探検を通して得た気付きから、自分の町のよさを発見し、愛着をもてるようにする。活動を通して出会う人々と直接触れ合い、関わって親しくなるきっかけとなる。

② 児童の実態

事前調査の結果

(2年1組21名 9月4日実施)

・ 近くの店で一人で買い物したことがありますか。	はい	3人	いいえ	18人
・ 近くの店の人と話をしたことがありますか。	はい	13人	いいえ	8人
・ 図書館で本を借りたことがありますか。	はい	13人	いいえ	8人

ほとんどの児童は一人で買い物をした経験が少ない。しかし、家の人と行って、近くの店の人と話をしたことがある児童が予想していたよりも多かった。学区内に市立図書館ができたこともあり、図書館で本を借りたことがある児童が多い。

③ 指導観

2年生になって、今までより活動範囲を広げて、町の自然や人々・社会との関わりをいっそう深めるようとしている。町探検を通した気づきから、自分の町のよさ発見し、愛着をいただくようにしたい。本単元の活動を通して、自分たちの生活が多くの人々と関わりながら成り立っていることに気付かせていく。さらに、それらの人々と接する力、見たり聞いたりすることを自分らしい方法で表現する力、友だちと協力しながら主体的に探検活動を行い、楽しんで取り組もうとする意欲などを育てたい。活動を通して出会う人々と直接触れ合い、関わって親しくなるきっかけとなることを考えると、本単元のもつ意義は大きい。グループでの校外学習は初めてなので、約束事を決めたり、見学時の挨拶や言葉遣いを考えさせたり、安全に対する心構えをもたせたりするようにする。

(4) 指導・評価計画（9時間取り扱い）

第1次 グループごとに町探検の計画を立て、必要なものを準備することができる。

・・・2時間

時	学習活動・内容	評価規準（評価方法）		
		関心・意欲・態度	思考・表現	気づき
1	みんなで行ってみたい所を話し合い、探検コースを決める。	自分が知っている町のことを話したり探検を楽しみにしたりしている。（観察）		
2 本 時	町探検のグループで、探検の場所で聞きたいことを考えたり、約束事を決めたりする。		探検の場所で聞きたいことを考えたり、探検の約束を決めたりすることができる。（観察・カード）	探検の場所で聞きたいことを考えることや約束の大切さに気付くことができる。（観察）

第2次 グループで協力して町探検をすることができる。・・・3時間

第3次 町探検で気付いたことを話し合い、様々な表現方法で表現したり、伝え合ったりすることができる。・・・3時間

第4次 町探検でお世話になった人々にお礼の気持ちを手紙に書くことができる。・・・1時間

(5) 本時の指導

① 目標

- ・町探検のグループで、持っていく物を考えたり、約束事を決めたりすることができる。

② 準備・資料

ア カード イ 振り返りカード

学習活動・内容【学習形態・準備・資料】	教師の支援
1 本時の学習課題を確認する。【一斉 ア】 たんけんばしょで聞きたいことを考えたり、やくそくをきめたりしよう。 2 探検の場所で聞きたいことを考えたり、約束事を決めたりする。 【個別・グループ ア】 (1) 聞きたいこと 肉屋さん ・どんな肉を売っていますか。 ・どこから肉をもってきますか。 ・どんな肉が売れますか。 (2) やくそく 〈歩くとき〉 ・交通あんぜんに気をつける。 ・グループでまとまって行どうする。 ・時間を考えて行どうする。 〈見学するとき〉 ・あいさつやおれいのことばをていねいにおこなう。 ・メモをしっかりとる。 ・すすんでしつもんする。 3 グループごとに発表する。【一斉 ア】 ・なぜその約束が必要か全体で考える。 4 本時の振り返りをする。【一斉 イ】 ・振り返りカードに本時のまとめをする。 ・カードに自分の考えが書けました。 ・話し合いの中で、すすんではつ言できました。 ・友だちの話をしっかり聞けました。 ・グループできょう力して聞きたいことややくそくをきめることができました。	・前時では、グループで探検コースを決めた。探検の場所で聞きたいことを考えたり、約束事を決めたりすることで、町探検への意欲を高める。 ・児童が聞きたいことや約束を考えて、カードに書き出してからグループで話し合うようにする。 ④ カードに書けない児童には、町探検の具体的な場面を思い浮かべて書けるように助言する。 ・グループで班長が進行し、グループで聞きたいことや約束をまとめる。 ◎ 机間指導を行い、自分の意見を進んで述べている児童を称賛する。(自己存在感) ・探検の約束事、児童だけで考えて決めるが、安全面については時間を取って徹底指導する。 ◎ 考えたり、話し合ったりする時間を十分に与える。(自己決定) ・班長が発表するように話す。 ・声の大きさや速さに気を付けて発表できるように話す。 ◎ 友だち発表を聞くときは、話している人をしっかり見て聞くことを確認する。 (共感的人間関係) ⑤ 町探検のグループで、聞きたいを考えたり、約束事を決めたりすることができる。 (観察・カード) 〈目標を達成した児童の姿〉 探検の場所で聞きたいことを考えたり、約束事を決めたりすることができ、町探検への意欲が高まる。 ・振り返りカードで本時のふりかえりをさせるようにする。 ◎ 本時の学習内容を振り返り、成果を認め、称賛する。(自己存在感) ・次時は、町探検に行くことを伝えて、意欲の継続を図る。

3 資料

(1) ワークシート

レッツ、ゴー、町たんけん たんけんたいの名まえ (2年フム目 たんけんたい)	レッツ、ゴー、町たんけん たんけんたいの名まえ (町丁 たんけんたい)
2年 ★くじ町たんけんをするときのやくそくをきめよう。	2年 ★くじ町たんけんをするときのやくそくをきめよう。
(歩くとき) 1. <u>1人で歩く。ひまひまにならないで歩く。</u> 2. <u>しべんない。</u> 3. <u>おたんとやうで手をちやんととる。</u> 4. <u>はく長やかく長の言葉をちやんと聞く。</u> 5. <u>ちやんとおしやうする。</u> 6. <u>よそみしないであちやんと歩く</u> (見学するとき) 1. <u>おみせの人の話を聞く。</u> 2. <u>おみせの中でふざけやうない。</u> 3. <u>ていねいなことばづかいをする。</u>	(歩くとき) 1. <u>走らない</u> 2. <u>さわがない</u> 3. <u>めめない</u> 4. <u>ふざけない</u> 5. <u>大声を出さない</u> 6. <u>2れつにならない</u> (見学するとき) 1. <u>ていねいな言ばづかいをする</u> 2. <u>〜です〜おちやつかう</u>

グループごとに「歩くとき」と「見学するとき」の約束事を話し合わせた。そうしたことによって、町探検の際の歩道の歩行や施設見学の態度がよりよいものになったと考えられる。また、後日行った児童一人一人の反省カードでは、町探検の際に約束を守れたと答えた児童が90%を超えた。

(2) 写真



4 まとめ(成果と課題)

成果としては、町探検のグループで話し合いを進めたことがあげられる。小人数のグループ内で、リーダーが中心となって話し合いを行った。町探検のグループで約束事を決めたことによって、全体で指導するよりも自分に身近な課題としてとらえることができ、自分で考えた約束事ということもあり、その後の町探検ではしっかりとした態度で臨むことができた。挨拶や歩行に関しても、グループでそれぞれが考えた約束事であったため、グループのリーダーを中心として声をかけ合いながら活動をした。そして、児童それぞれが1つの施設に対し1つは質問をすることを最低条件として設けたことにより、質問や施設の方とのやりとりを通し、活発な活動となった。

課題としては、町探検を行う回数と時期についてあげられる。本来、町探検は1学期に2回行われる。1学期に町探検を行うと自然の観察をすることができ、2回町探検を行うと2度目の町探検で補足的な活動をしながらよりよい探検活動ができるとされている。しかし、今回本校では、町探検で校外に出るのは2学期後半の1度となった。他の単位との絡みや、1度だけでの活動では限度があり、これからも主体性のある交流を続けていけるような活動の在り方が課題である。